

令和7年度学校経営方針概要 【大宮中コンパス】(案)

令和7年4月1日

杉並区立大宮中学校校長 関田誠

教育目標 (1) 心身とも健康な人 (2) 自ら学ぶ人 (3) 他を思いやる人 / (G組) すすんで学ぶ人 心とからだの健康な人 思いやりの気持ちのある人

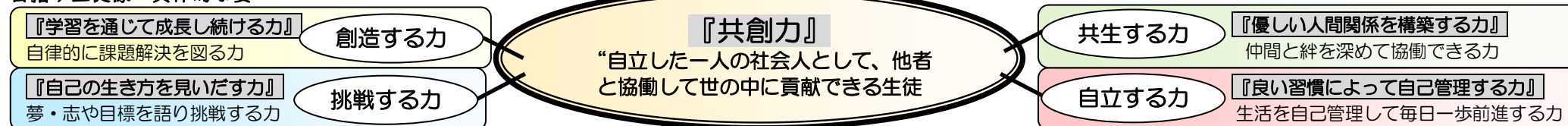
大宮中精神:『優しさをもって、自らの夢や目標にしなやかに挑戦を続ける大宮中生であれ!』

大宮中では、優しさをもって自己の可能性を見出し、夢や目標を掲げてしなやかに挑戦する生徒を育む。また「自分を育ててくれた大宮中、杉並区を愛する」ことを、誇りをもって語れる生徒を育てるための教育活動を行う。保護者・地域と信頼関係を構築し、将来、社会の一員として活躍する生徒を共に育てる。

目指す学校像: (1) しなやかな心と体を鍛える学校 (2) 自己と向き合い学ぶ意欲を育てる学校 (3) 他を思いやる優しさを育てる学校

『魅力ある学校とは、結局は良い授業が展開される学校である。生徒を学びに向かわせる授業像を皆で探究する学校でありたい』

目指す生徒像: 具体的な姿



目指す教員像: (1) 生徒がわからない事をわかるようにできる人 (2) 良い生活習慣・学習習慣を身につけさせる人 (3) 生徒に常に寄り添い共感的に応援できる人

目指す職員室: (1) 学ぶ教職員が学ぶ生徒をつくる職場 (2) 常に協力し支え合い、笑いの絶えない風通しの良い職場 (3) 整理整頓を心がけ働き方改革を進める職場

教育目標達成のための4本柱…『7つのゼロ』目標

<p>『授業を通じて学びに向かう力』の修得…学習無気力ゼロ</p> <p>① 『全員に基礎・基本の定着』+『出来る生徒を飽きさせない発展的学習』を踏まえ、全ての授業を工夫し充実させることで、生徒が自ら学びに向かう力の修得。</p> <p>② ICT導入による個別最適な学び、協働学習、タブレットPCの利活用、情報モラルの修得</p>	<p>『優しい人間関係を構築する力』の醸成…いじめ見逃しゼロ・不登校未対応ゼロ</p> <p>① 人権教育の徹底を図り、いじめや暴力のない温かい人間関係の醸成。</p> <p>② 通常学級と特別支援学級の交流学习を通して、相互理解の醸成。</p> <p>③ Seibi Room別室を運営 学校での居場所づくりや家庭との信頼関係の醸成。</p>
<p>『自己の生き方を見出す力』の育成…夢や目標なしゼロ・読書不読率ゼロ</p> <p>① 体験活動・講演会や講話の充実を通して、望ましい職業観・勤労観の育成</p> <p>② 全ての生徒が夢と目標の違いを認識して、自己の将来を設計する意欲の育成</p> <p>③ 読書習慣の形成で『学ぶ意味』を踏まえた社会貢献の心の育成 ※『昼読書』の試行</p> <p>④ 感動を伴う行事、生徒会活動により、成就感、達成感、自己有用の育成</p>	<p>『良い習慣で生活を整える力』の定着…時間を意識しない生徒ゼロ・DOノート未活用ゼロ</p> <p>『DOノート、連絡帳(G組)』に全校体制で取り組み、見通しと振り返りの力定着。</p> <p>① DOノートの6要素を機能的に活用する力の定着。</p> <p>② 自主学習『計画・実行・振り返り』の定着。(目標1年1h2年2h3年3h)</p> <p>③ 金曜日終学活前に清掃カットで『DOノートタイム』の開設と定着。</p>

・『SDGs、カーボンハーフの視点』 持続可能な社会を創造するための取り組みを、各教科・総合的な学習の時間を通して横断的に学習する。

・『防災教育の再構築』 来るべき震災に備えて、避難訓練にとどまらずコロナ禍で停止している地域との『震災救援所訓練』を実施する。

・学校運営協議会(CS)…教育課程、学校経営計画の承認、委員・生徒・保護者の意識調査、学校関係者評価の実施、広報だより、教職員・PTA・生徒会本部との懇談等。

・学校支援本部の活動…学校運営に協力できる地域の人材の紹介。放課後学習教室『なでしこ塾』、土曜特別講座、英検実施担当、地域行事の見守り 等

『ZERO校時の充実』 五教科(モジュール授業)+朝読書のローテーション。教科授業を補う課題の準備と適切な評価を行う。朝読書は全員読書の環境を築く。

『キャリアデザイン講座』 三年間見通しをもったキャリア教育を実施する。外部講師の積極的な登用。『起業家教育』四年目として内容の洗練を図る。

『学と遊』 今年の漢字は『学と遊』『よく学びよく遊べ』『遊ぶように学び、学ぶように遊ぶ』学びも遊びも切り替えを上手に全力投球の一年間を目指す。

『C&Cデーから前進』 生活のきまりを見直す過程で、生徒会活動を活性化して『きまりやルールは自分たちでつくれる、変えられる』という意欲を醸成する。

『教室の新聞活用』 新聞に関心をもたせ、世の中の事象に対する情報に触れさせる。社会の出来事を生徒に読ませる工夫を検討して、各学年・学級で取り組む。

